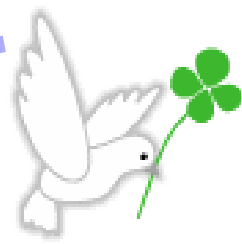


はばたけ



Vol.93
2012年12月29日発行

栃木障害者の自立をめざす会 《会員数 現在231名》

【事務局】 社会福祉法人 なすびの里内 TEL 0282(29)6111 発行者 中山 全央

「障害者運動の課題は…」

ゆうの家事業所施設長

渡部 眞江

新年明けましておめでとうございます。ゆうの家事業所も今年で十一年目を迎え、施設開所時から後援会の皆様には、多大なるご支援頂き、誠に感謝申し上げます。

平成二十五年四月に障害者自立支援法が改正され、新たに障害者総合支援法へと移り変わります。その中で、現在、障害者運動を取り巻く状況について述べさせていただきます。

「二〇〇を超える地方議会が、骨格提言を尊重した総合的な法制度を求める意見書を採用」「基本合意と骨格提言は、今なお輝きを放ち、障害者権利条約批准に向けた制度改革を前進させなければならない」「日本障害者協議会」「骨格提言と基本合意をわが国の障害保健福祉施策に反映させることと現在検討されている障害者差別禁止法（仮称）の制定は、障害者権利条約を実質的に批准するための不可欠な要素」（きょうさん）「自立支援法廃止と権利を保障する総合的な福祉法制定を求めて、障害者関係団体との共同を更に強める」（障害者の生活と権利を守る全国連絡協議会）「わたしたちが求めているものは「特別」のものではなく、極端に低い日本の福祉予算を、せめてOE

CD諸国の平均並みにすること、同年齢の市民と同等の権利を保障すること」（全国障害者問題研究会）は、今後の障害者運動の方向性を示しています。

政権党の民主党が惨敗に終わった十二月十六日の選挙投票日の翌日十二月十七日（月）に、障害者基本法に基づく「第五回障害者政策委員会」が開催され、意見具申がなされた。「新たな障害者基本計画に関する意見」を議題にこれまで本会議五回、六つの小委員会（教育・就労・医療・療育など）を前半・後半と分けてそれぞれ三回ずつ、「わたしたちのことをわたしたちが抜きに決めないで！」の精神のもとに、障害のある当事者や代表する団体も委員に加わった会議が重ねられ、とりまとめられました。

これが今後、新しい「障害者基本計画」をつくる際の内閣総理大臣に対する意見となります。十七日の会議では、最終意見（加筆・訂正・削除）が話し合われ、とりまとめられた「新たな障害者基本計画に関する意見」が、前川内閣府副大臣に『意見』は手交（直接手渡し）されました。

分野別施策では、主に次のような意見が出され、委員会意見を踏まえて十三省庁により作成され、今年度内に閣議決定される見込みです。

一・年金【十五条】、経済的負担の軽減【二十四条】

◎ 現行の年金や諸手当等の所得保障制度全般についての総合的な検証と留意点

- ・生活できる給付水準であること
- ・地域間格差がないこと
- ・障害種別で谷間がないこと
- ・無年金障害者への早急な対応

◎ 新基本計画の監視に当たりデータの把握

- ・障害者（無年金障害者を含む）とその家族の生計実態のデータ
- ・上記の男女別、障害別、年齢階層別、都道府県別等のデータ

2. 職業相談等【十八条】、雇用の促進等【十九条】

(一) 労働と福祉の一体的展開

◎ 労働と福祉の一体的展開の在り方の検証、多様な働き方についての試行事業実施

◎ 上記の検証の間の現行の福祉的就労の留意点

- ・一般就労が困難な障害者等の働く意向が尊重される、多様な就業機会の一つとしての福祉的就労の充実
- ・福祉的就労の場における工賃現状を幅広い観点から検証と必要な改善
- ・福祉的就労の場への通所助成検証と必要な改善

(二) 障害者雇用

◎ 法定雇用率制度の継続、対象拡大についての検討

◎ ダブルカウント制度、特例子会社制度の当面継続とその在り方検討

◎ 通勤支援と職場での生活支援は、当事者にとって差し迫った課題であり、福祉サービスとの連携も含めた早急な検討

◎ 障害者雇用促進の観点から当事者及び企業支援拡充、就労支援機関の在り方及び支援者養成、予算確保等必要な施策検討

◎ 障害者が働く上で必要な合理的配慮の提供義務づけのための検討

◎ 新基本計画監視に向けたデータ把握

・障害者の雇用形態（正規・非正規）や障害別雇用率

・就労移行（求職登録の期間等）について

・離職者状況、最低賃金減額特例（都道府県格差の実態等）

・雇用に関する男女別や一般市民との比較

・女性障害者の就労状況についての事例調査を含むデータ等

(三) 就労施策に関するその他の事項（自

営業・起業への支援等）

◎ 自営業に従事する障害者への職場介助、移動支援の制度化、自営業

や起業のための訓練及び経済的支援等の検討

◎ 「障害者優先調達推進法」の施行に向けた制度周知、実効性確保

これまで、真剣に議論を進めてきたこうした『意見』が、このあとどこまで障害者基本計画に反映されるのか、大きな疑問と不安は否めないというのが正直な気持ちです。

きょうされんが調べた障害者の収入状況では、

- ① 百万円以下（五十六％）
- ② 百二十五万円以下（二十八％）
- ③ 二百万円以下（八％）
- ④ 二百万円以上（一％）

と、低所得と家族依存の深刻さは相変わらず変わりません。

新しい障害者基本計画、今後上程される予定の障害者差別禁止法……。あたらしい政府でどう扱われることになるのか、わたしたちは、しっかりと見ていきたいと思えます。



「合同クリスマス会二〇二二」開催

ゆうの家事業所
前原 隆司

新年明けましておめでとうございませう。本年も自立をめざす会の活動とゆうの家事業所の活動に邁進していききたいと思ひます。

さて、昨年のご報告となりますが、自立の会恒例である「クリスマス会」が栃木市社会福祉協議会歳末たすけあい補助事業のご支援を受け、十二月八日（土）栃木市国府地区公民館にて、自立の会会員八名、施設利用者・職員・家族・日中一時で百七名、栃木特別支援学校四名（保護者含）、障がい者の一人暮らしを考へる会九名の計百二十八名で開催されました。

今年も「団体の交流」をコンセプトに昨年同様、自立の会となすびの里、そしてなすびの里家族会・障がい者の一人暮らしを考へる会の四団体を中心に名称を「合同クリスマス会」とし、会場は昨年に引き続き、国府地区公民館での実施となりました。



会場準備中です

クリスマス会は中山会長の挨拶から始まり、三室家族会会長の挨拶、そして出し物のオーブニングを飾るのは、家族会のオカリナ演奏でした。その後、なすびの里利用者の出し物、そして、自立の会恒例のケーキ作り大会です。皆、楽しそうに思い思いの形にケーキを作りました。



豪華な食事に大喜び♪



お楽しみみの豪華食事はなすび食堂のオーブリングから始まりフルーツポンチ、けんちんうどん、お赤飯と本当に食べきれない程の豪華食事で、お腹も笑顔も満タンでした。今年、食事の手配を自立の会と家族会が中心となり調理して頂きました。自立特製？味噌けんちんうどんとっても美味しかったです。



星サンタ登場！

午後の部は、なすびの里でもお世話になっているエレクトーンの強口先生をお招きし、クリスマスの音楽を中心にデイズニー曲などで盛り上げていただきました。また、なすびの里の仲間の出し物も行い、大笑いを誘っていました。



そして最後にお待ちかねのプレゼント大会です。今年も毎年お世話になっている社会福祉協議会の歳末助け合い補助事業をはじめ、下都賀労働組合、家族会、仲間自治会、施設等、多くの方々の補助やカンパにより多くのプレゼントを用意する事が出来、大盛り上がる内容となりました。



プレゼント



中身は？

クリスマス会までには自立・なすび・家族会・一人暮らしを考える会の四団体が行委員長会を作り、会議を重ね実施致しました。昨年の課題を踏まえ、調理や食事の配食などスムーズに行える事が出来たと思います。回を重ねる事にコンセプトでもある「交流」が少しずつ図れているように感じます。

また、今年も栃木特別支援学校生やなすびの里の日中一時事業を利用していらっしゃる方達にも参加していただき、自立の会の取り組みを一部ではあると思いますが知っていただく事ができたと思います。

来年のクリスマス会について、もっと良いものを、と考えたいと思いますが、まずは今回過去最大となった参加者がゆつたりと参加出来る会場を探して行きたいと思っています。まずは、会場探しが、課題ですね..。



最後に、今回自立の会クリスマス会に御協力いただいた全ての方達（ご寄付、補助、当日のスタッフの方達）に感謝を申し上げます。本当にありがとうございます。



次はどんなクリスマスかな～？



社会参加促進事業報告

「とちぎ秋祭り撮影会」

十一月十日（土）、写真教室の取り組みとして、当事者四名を含め計十名でとちぎ秋祭り撮影会を行いました。

前日の天気予報では天気が崩れるとの情報でしたが、当日は素晴らしい天気で日中からかなりの人手で大賑わいでした。

集合場所は蔵の街直売所前で、まず中山会長の挨拶を行い、その後、当事者一人ひとりに支援者が付き添い、撮影ルートを周りました。

人手が多く、山車会館付近で「ターンする予定でしたが、スタッフのご配慮で横山記念館に席を取っていただき休憩させていただきました。そのような経験もなかなか出来ることではないので、とても良い思い出になりました。



横山記念館で一息



撮影をしながらも、初めて来たという方もいらした「とちぎ秋まつり」の様子に、皆興奮気味でした。

それぞれ支援者の方が責任を持つことで予定通り十五時に蔵の街直売所に戻り、焼きそばや唐揚げを食べて反省会をしました。かなり歩いてお腹も空いていたのか、皆さんべろりとたいらげていました。

当日ご協力いただいた支援者の皆様、ご協力に感謝すると共に、また次回もご協力よろしく願います。多くの方の笑顔が楽しみです。



最後になりましたが、撮影した、本日の一品です。

「車いすダンスフェスティバル」

十一月十一日（日）栃木市大平健康福祉センターゆうゆうプラザにて、NPO 法人全日本車椅子ダンス教室協会主催「第五会車椅子ダンスフェスティバル」大平にお招きいただき、当事者四名を含む計十三名で参加しました。

当日は普段の服装と異なりスーツにネクタイの装い、また広い会場と予想を超えた多くの参加者で皆緊張していました。また、セミナー前には技術級認定試験も行われ、緊張の中、いつもダンスでお世話になっている庄崎先生に審査していただき、みごと参加者全員が試験に合格する事ができ、皆一安心でした。



昼食を取り、午後からはいよいよ演技発表です。周りをグルッと参加者の方達が囲み、一気に緊張感が高まり、皆緊張が顔がガチガチでしたが、演技を終えると皆顔がゆるみ笑顔がみえました。

今回はこのような晴れ舞台で緊張するもまた貴重な経験でした。これほどまでに盛大な会場でダンスを披露できたのも、理事長高根澤先生と副理事長庄崎先生の熱意とご努力のおかげと感謝申し上げます。本当に有り難うございました。

事務局からのお知らせ

【訂正のお詫び】

前号 (No. 92) でお知らせしたメールアドレスに誤りがありましたので訂正いたします。大変申し訳ございませんでした。

誤【Jiritu001@auone.jp】

正【jiritu001@auone.jp】

※最初の文字の (j) の字が大文字になってしました。

文化・芸術事業取り組み

[写真であそぼう

at 白い蔵 黒い蔵]

日 時 平成25年1月27日 (日)

13:00~15:30

会 場 栃木市倭町

小山高専サテライト・キャンパス

内 容 ・デジタルカメラのABC

・ワークショップ

(みんなでとった写真をかざろう)

・白い蔵・黒い蔵見学

蔵っていろいろあるんだね、中はどうなってるのか見てみよう!

定 員 20名 (≠切: 1月21日月曜日)

申し込みお問い合わせ (栃木障害者の自立をめざす会)

電話・FAX 0282-51-2178 E-mail: jiritu001@auone.jp

自立の会恒例

「妙唱寺大黒天」出店します!!

自立の会が長年お世話になっている妙唱寺の大黒天に今年も出店します。

会場: 妙唱寺

日時: 平成25年 1月19日(土)・20日(日)

AM10:00~PM4:00

内容: うどん・そば(トッピングあり)

栃木障害者の自立をめざす会

活動報告

- | | | |
|-----|--------|------------------------|
| 10月 | 7日(日) | 車いすダンス教室 |
| | 13日(土) | 第6回役員会 |
| | 21日(日) | 車いすダンス教室 |
| 11月 | 4日(日) | 車いすダンス教室 |
| | 10日(土) | 写真教室
とちぎ秋まつり撮影 |
| | 11日(日) | 車いすダンス教室
ダンスフェスティバル |
| | 17日(土) | 第7回役員会 |
| 12月 | 2日(日) | 車いすダンス教室 |
| | 8日(土) | 合同クリスマス会 |
| | 15日(土) | 第8回役員会 |
| | 16日(日) | 車いすダンス教室
忘年会 |



編集後記 今年も色々な事がありました。あんな事やこんな事…、年末には政権交代がされ、これまで動いていた障害者問題もかき消されてしまうのではないかと不安も感じます。しかし、現在取り組んでいる社会参加促進事業に私自身参加し、また今までとは違う視点から障害について捉えられるようになり、良い経験になりました。多くの方がこの事業に参加し障害者とふれあい、世の中が変化するきっかけになる可能性も秘めているのではないかと、と壮大に夢を膨らませ、また今年も自立の会へのご支援、よろしく願い致します。(編集 前原)

